



2023年1月25日

各位

会社名 株式会社FHT ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 森 欣也
 (コード: 3777、東証グロース)
 問合せ先 取締役経営企画管理本部長 森蔭 政幸
 (TEL. 03-6261-0081)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月10日付「2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしましたとおり、2022年12月期の連結業績予想につきましては未定とさせていただいております。当社は本日開催の取締役会において最近の業績の動向等を踏まえ、2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期の連結業績予想の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	754	△89	△96	△101	△0.45
増減額(B - A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2021年12月期)	263	△153	△157	260	1.42

2. 修正の理由

当社グループの資源エネルギー事業における太陽光発電に係る事業において、太陽光発電所の取得を進めておりますが、太陽光発電所所有者との交渉により取得時期が変動するため取得計画及び譲渡計画が不透明な状態であり、当社グループの連結業績規模からすると資源エネルギー事業における太陽光発電に係る事業の太陽光発電所譲渡による売上・利益が当社グループの業績に与える影響が大きく、その影響を踏まえた業績予想の合理的な算定が困難であることから、2022年12月期の業績予想につきましては、未定としておりましたが、合理的に算定できる環境になったことから、2022年12月期通期業績予想値を公表することといたしました。

なお、本業績予想について、当社グループの各セグメントの見込みにつきまして別紙に記載のとおりであります。IT関連事業につきましては既存製品の販売強化や協業企業との連携による付加価値向上に取り組み、売上高見込みを前年同期比増としておりますが、円安により製品仕入れ原価が上昇し利益率が低下したため、利益見込みが前年同期減としております。環境事業につきましては、2021年10月に子会社としたアイレス株式会社が加わったため、売上高見込み及び利益見込みが前年同期比増としております。資源エネルギー事業につきましては、太陽光発電所の譲渡や太陽光発電所の売電により、売上高見込み及び利益見込みが前年同期比増としております。しかしながら、当社グループの3つの事業(セグメント)において、当社連結業績の営業利益を達成するための利益を上げることができず、当社の管理費等を含んだ連結業績において、営業損失、経常損失、当期純損失と予想しております。

ご注意： 本資料に記載しております業績に関する予想値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。

以 上

【別紙】

[主要諸元（通期）：セグメント毎の売上・利益見込み]

単位：百万円

セグメント	売上高見込み	利益見込み	前期売上高実績	前期利益実績
IT 関連事業	101	19	73	23
環境事業	398	13	92	△1
資源エネルギー事業	254	75	154	15

※ セグメント「資源エネルギー事業」の「前期売上高実績」及び「前期利益実績」につきましては、「再生可能エネルギー事業」の実績であります。